

会議概要

平成 19 年 7 月 13 日掲載

開催概要

- ◇ 名 称：平成 19 年度第 1 回新潟市若年者職業支援ネットワーク会議
- ◇ 日 時：平成 19 年 7 月 11 日(水) 午前 10 時～午後 0 時 20 分
- ◇ 場 所：新潟市役所第 1 分館 301 会議室
- ◇ 出席委員：泉委員，今井委員，小武委員，西條委員，篠田委員，新保委員，中島委員，中山委員(代理出席佐藤岩夫指導主事)，成田委員，樋口委員，福島委員，本間委員，前田委員，皆川委員，山岸委員，渡辺委員
- ◇ 事務局
経済・国際部：浜田部長
商工労働課：塚本課長，笠原雇用対策室長(司会)，新井田雇用対策室主幹，堀川雇用対策室主事，平岡雇用対策室主事
労協センター事業団：武田新潟事務所長，山際職員
NPO 法人メンタルフレンドにいがた：市嶋副理事長
NPO 法人 Made in 越後：真島理事長

概要

- ◇ 経済・国際部長の挨拶のあと，事務局から委員の紹介と事務局の紹介をしました。
- ◇ 事務局から「新潟市若年者職業支援ネットワーク会議設置要綱」についての説明をし，委員の皆様から承認をいただきました。

【会長・副会長選出】

- ◇ ニートの把握と自立への支援という役割から会長には新潟大学キャリアセンター准教授の西條委員，副会長には新潟市こころの健康センター所長の福島委員を選出し，両委員からご挨拶をいただきました。

【ニートの現状とネットワーク会議の概要】

- ◇ 新潟市の雇用の状況として有効求人倍率，完全失業率，若年者の離職率，非正規雇用の増加などを事務局から説明しました。
- ◇ ニートの現状として，若年無業者の定義と，新潟県のニートの数，新潟市のニートの数の推計を事務局から説明しました。
- ◇ 厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備モデル事業」の概要として，地域若者サポートステーション，中央サポートセンター，地方自治体の役割を事務局から説

明しました。

- ◇ 本ネットワーク会議の概要として、新潟地域若者サポートステーション、本ネットワーク会議、新潟市の役割を事務局から説明しました。
- ◇ 正規雇用が良くて非正規雇用は悪いという考え方に全て当てはめず、多様な就業形態を認めるべきだというご意見をいただきました。
- ◇ 若年者でただ無業の状態にある者の状況と「ニート」という行政が作った言葉の意味にはズレがあるのではないかとのご意見をいただきました。
- ◇ 若年無業者の実態は千差万別であり、全体的な支援ではなく個別の支援のほうが効果的だというご意見をいただきました。
- ◇ 本ネットワーク会議の対象者をはっきりさせるため、そもそも「ニート」の定義について共通認識を持ちたいとのご意見をいただきました。それを受けて、新潟県が平成 17 年度に行ったニートに関する実態調査研究会の報告書を各委員に後日配布し理解を深めてもらうことになりました。
- ◇ 本ネットワーク会議の名称について、職業的自立の支援を目的にするのなら「職業支援」という言葉はふさわしくないのではないかとのご意見をいただきました。
- ◇ 本ネットワーク会議で何か行動を起こそうというのなら、会議の開催頻度は年 3 回では少ないのではないかとのご意見をいただきました。
- ◇ 本ネットワーク会議が市の施策にどう関わるのかというご質問をいただきました。委員の中に市の関係機関の職員もいるため、本ネットワーク会議で議論した内容をそれぞれの場で反映させることを事務局から説明しました。

【「新潟地域若者サポートステーション」事業内容説明】

- ◇ 7 月 9 日にオープンした新潟地域若者サポートステーションの事業内容について、厚生労働省からの受託団体である労協センター事業団から説明しました。
- ◇ 初日は 8 名、2 日目は 6 名が利用したとの報告がありました。
- ◇ サポートステーションまで足を運べる利用者はまだ良い方で、相談にも行けない若者を救うために訪問活動も計画しているとの説明がありました。

【委員からの「ニート支援」への関わり】

- ◇ 各委員から、日ごろの活動内容やニートの支援への関わり方についてお話をいただきました。

会議資料

- ◇ 次第
- ◇ 委員名簿
- ◇ 席次表

◇ 新潟市若年者職業支援ネットワーク会議設置要綱

◇ 資料

- 1 新潟市の雇用の状況
- 2 ニート(若年無業者)の現状
- 3 厚生労働省「若者自立支援ネットワーク整備モデル事業」の概要
- 4 新潟地域若者サポートステーションの開設場所
- 5 新潟地域若者サポートステーション運営団体(厚生労働省受託)の概要
- 6 新潟地域若者サポートステーションの事業概要
- 7 新潟市若年者職業支援ネットワーク会議の概要